

入場
無料

すべての人が性別にとらわれず、自分らしくいきいきと暮らせるまちをめざして

令和7年度 宝塚市男女共同参画プラン推進フォーラム

『女の子たち風船爆弾をつくる』

小林エリカさん 講演会

宝塚歌劇に憧れ、華やかな夢を抱いていた少女たちが、戦争という時代に翻弄されていく。

戦後40年近く『歴史』からなかったことにされていた風船爆弾を作った少女たちは、犠牲者だったのか、それとも加害者だったのか。戦時下の少女たちの知られざる物語が、現代に生きる私たちに、今、問いかけるものとは。

※風船爆弾※

太平洋戦争末期に開発された秘密兵器。和紙をこんにやく糊で貼り合わせた直径10メートルの巨大な風船に爆弾をぶらさげ、偏西風に乗せて、米本土を無差別攻撃した。1944年以降太平洋側から約9300発が発射され、約1000発が米国に到着。うち1発で民間人6人が死亡。小説『女の子たち風船爆弾をつくる』（文藝春秋2024年）は、東京宝塚劇場での風船爆弾づくりに動員されていた「女の子たち」の物語（第78回毎日出版文化賞受賞・文学・芸術部門・受賞）



講師 小林エリカさん

1978年東京都生まれ。作家、漫画家、アーティスト。著書に『マダム・キュリーと朝食を』（集英社2014年）コミック『光の子ども』1〜3（リトルモア2013年〜19年）ほか多数。歴史や記憶、放射能等、目に見えないけれど、確実に今に痕跡を遺しているものをテーマに、リサーチに基づく史実とフィクションからなる小説や漫画、映像やドローイング、テキストを交えたインスタレーションなどを幅広く手がける。



太平洋戦争末期、女学生たちは秘密の兵器を製造するため、東京宝塚劇場に集められた――

知られざる「少女たちの戦争」の
真実の物語

文 藝 春 秋

The Paper Balloon Bomb Follies

イベント
QRコード



2025 12.14

13:30~15:30 (日)

(13:00 開場)

会場 ソリオホール

宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1・3階
(阪急・JR宝塚駅下車すぐ)

要予約
先着順

申込

定員：250人

参加費：無料

※お申込みは、
同時に2名様までの
受付とさせていただきます。

手話通訳・要約筆記あり

一時保育あり10人（1歳〜就学前まで）無料 12/5（金）までに要予約

10月3日（金）9:00～

0797-86-4006

電話、窓口、
上記QRコードより

宝塚市立男女共同参画センター ※第2日曜日 10/12・11/9 休館
FAX0797-83-2424

主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル ホームページ <https://www.takarazuka-ell.jp/>

指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

※申込みにあたってお預かりする個人情報は、本講演以外の目的で使用することはありません。